

今日道を歩いていると
ストップウォッチを
拾いました。

??

しーん...

スイッチを押すと
時間が止まったように
全てが動かなくなっていました。



ベ ちっ

ニヤ

ニヤ

何かのドッキリかと
思い、女子学生に
声をかけたが
反応がないので

イラついて
思わずビンタして
しまいました。

すると態勢と
顔のへこみまでそのまま
固まってしまいました。



カチッ

ストップウォッチを
もう一度押すと
態勢や変形した無様な顔が
見る見るうちにもとに戻っていき、

シュル

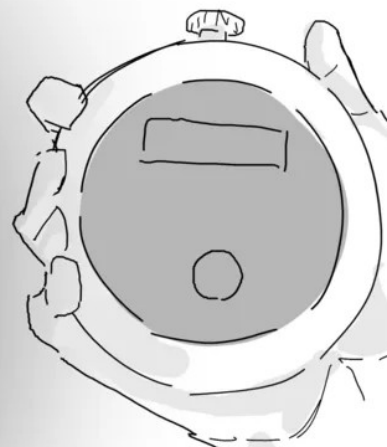
シュン

さっきの出来事
が何事もなかったかの
ように全てがまた動き始めました。
顔の違和感に気づいたのか
女子学生は顔を触っていました。

?

どうやらあの時間につけた
傷や物体はそのまま
残るようです。

その不可思議な体験が終わって
初めてそれが本物の
「時間を止めるストップウォッチ」
だと確信しました。



ドン

ドン

その「力」を得てしまい、
なんとも言えない興奮で
誰が見てもわかるくらい
勃起してしまった事を
今でも覚えています。

時間を止める時計を手に入れたので
学校に来てみました。

学校に入ろうとすると
声をかけられました。

それはめっちゃ可愛くて
巨乳の真面目そうな女の人でした。

その女の人曰く。
「怪しい人」だったので
声をかけたという。

やばいと思い
言い訳を並べたが
上手くいかず。
さらに怪しまれて
しまいました。

時間を止める時計
を使いました。

「先生を呼ぶ」と
言われたので

止まれっ

クアッ



そのあと生まれて初めて
ディープキスをしてみましたが
これは癖になりますね。

女の人が動かなくなったので
一目見て揉みたかった
胸を揉みました。
あまりの重量感に驚きつつ
さらに胸を揉みしだきました。

パンツを引っ張ると、
お○んこが姿を現しました。
印象深かったですね。

キスし終えたら
スカートをとくし上げ、

ちん



緊張で尿意があったので
思い付きで彼女の
パンツにおしっこを
してみました。

他人のパンツに
おしっこをかけても
何も言われないこの
状況に、背徳感と
支配感を感じて
さらに興奮しました。

そのせいで
既に勃起していた
ち○こを前後に擦り、
彼女のパンツに射精
してしまいました。

これは彼女のパンツの
せいなので
私は悪くないです。

まだ興奮が収まりきらない
せいか、気づかぬ間に
彼女の顔を
ち○この目の前にもってきて

ン
ボ
ン

突っ込んでいました。

柔らかな唇と
舌のなめらかな感触
がもろにち○こに
伝わってきます。

先程出したばかりなのに
口ま○こが気持ち良すぎて
すぐ射精してしまいました。

じゅるじゅる

...

さすがに即2回も出すと
疲れるもので、今日は終わりにし
最後に彼女の手をダブルピースに
して遊んだりして、再びストップウオッチに
手を伸ばし、スイッチを押しました。

時間は自分に出会う1分前に
設定しておきます。
この機能は先程見つけました。

ベッ

ベッ



先程までの変顔は
元に戻っていき、
人形のようになっていた
彼女の目にも
精気が宿ってきました。

顔に違和感を感じたのか、
彼女は精液塗れの自分の顔
を触っていました。



そんな彼女を見て
今日は満足したので
予定を変え、学校を後にしました。
学校は彼女のご奉仕によって救われたのでした。

よかったね。



時間を一分前に戻しているの
彼女にとっては急に顔と口内に
変な液体が付いていて、さらには
お漏らしまでしてしまったと
思っていることでしょう。
その様子は彼女の
その焦った顔を見ても明らかでした。

END